

“アートギャラリーのようでギャラリーではない — A gallery, but not a gallery.”
BIOME（バイオーム）の Kanjiru（Art）展覧会のご案内および BIOME の移転に関するお知らせとなります。

BIOME Kanjiru（Art）展覧会のご案内

写真家 宮本 敏明 作品展
「ポートレート つくるひと」
～「たからもの for おくりもの 2026」Special 版～

2026 年初の展覧会であり、また現住所・中山手での最後の展覧会についてのご案内となります。
毎年恒例のグループ展「たからもの for おくりもの」。“宝物”と“贈り物”をテーマに、1 アーティスト 1 作品を出展いただく企画として行ってまいりましたが、2026 年につきましては Special 版として、写真家・宮本敏明氏の作品展「ポートレート つくるひと」をお届けいたします。

宮本氏をお迎えするのは、2023 年の個展「イカリエ」以来となります。30 年にわたるパリを拠点とした活動を経て、2021 年に日本へ帰国。「イカリエ」は、帰国後初の個展となりました。独自の視点と幻想的な表現のみならず、作り方や額装の仕方など、アカデミックな共有もあった個展となり、多くのお客さまを魅了するだけでなく、新たな写真の世界へとお連れしました。

2026 年 1 月 10 日（土）からはじまる「ポートレート つくるひと」では、手をつかい、ものをつくる人に焦点をあて、真摯に向き合い、撮影した“つくるひと”たちの姿を、迫力のあるポートレートとしてご紹介いたします。

BIOME でも、これまでに多くの“つくるひと”たちと協働し、寄り添い、また訪れていただいた方々へと伝播する場となってまいりました。これからも、新たな地で次章へと向かう BIOME にとって、とても意味のある展覧会を、宮本氏の見応えのある作品とともにおたのしみください。

＜展覧会概要＞
タイトル： 写真家 宮本 敏明 作品展「ポートレート つくるひと」
～「たからもの for おくりもの 2026」Special 版～
会 期： 2026 年 1 月 10 日（土）から 1 月 30 日（土）まで
時 間： 12:00 - 17:30（最終入場は 17:00 までとなります）
最終日の 1 月 30 日（土）は 11:00 - 15:00 となります。
休 廊： 水曜・木曜・金曜日
在 廊： Instagram などにて随時告知
作 品： 約 10 点を予定
会 場： 〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-16-14 BIOME Kobe
※時間・休廊日は予告なく変更する場合があります。公式ウェブサイトおよび Instagram などでご確認ください。

＜宮本 敏明氏からのメッセージ＞
長いあいだ人を撮りながら、どこかで“写真には嘘がある”と思っていました。
モノクロに逃げたり、構図の理屈に寄りかかったり、被写体の力に頼りすぎたり——。
自分の撮る写真の根っこに、なにかをごまかしている感覚がつきまとっていたからです。
気がつけば、アイフォんで撮られた何億枚という写真が日々生まれ、そこには技巧ではない“ただ生まれる喜び”が宿っている。それなのに、自分は方法論にしがみつき、写真を「こうあるべきもの」と定義しようとしていた。その滑稽さに、ようやく気づくようになりました。
人がなにかをつくるとき、そこに嘘はありません。手が覚えている動き、積み重ねてきた時間、迷いや葛藤までも含めた“その人そのもの”が姿をあらわす。今回、私はその表情を、できるだけ虚像のないまま、ただカメラを向けて受け止めたいと思いました。好きなカメラとレンズで、カラーのまま、撮影したそのままのプリントをつくる。ようやく、そんなシンプルなことに向き合えるようになった気がします。
BIOME の中山手での最後の個展として、「つくるひと」に宿る静かな強さをぜひ見ていただければと思います。

宮本 敏明

＜アーティスト紹介＞
宮本 敏明（Toshiaki Miyamoto）
神戸市生まれ
30 年にわたりパリを拠点に活動し、2021 年に日本へ帰国。

主な活動：
・竹中大工道具館企画「フィリップ・ワイズベッカーが見た日本」カメラワーク担当
・ギャラリー Eko Sato（Paris）での個展多数
・佐藤絵子氏主宰ギャラリーでの展示
・MUJI「Life in Art」関連展示 ギャラリートーク記事
・NEW ポストセブン 伊集院静氏の記事掲載 ほか

主な個展・グループ展・出版・動画：
（ご提供の経歴を時系列でそのまま記載）
[個展]
1992 Renault / France
1994-2022 ギャラリーエスパス 446
2020-2021 Galerie Eko Sato / Paris
2021 Salon de la photographie - Paris
2023 BIOME Kobe ほか

[グループ展]
1995 Moscou Russe
1997 大阪府立現代美術センター
National Portrait Gallery（London）ほか英国巡回
2003 芦屋市立美術館
2011 東京「写真本 24h」出版記念
2018 大阪茶屋町画廊ほか多数
2022-2025 ギャラリーエスパス 446

[パブリックコレクション]
フランス国立図書館

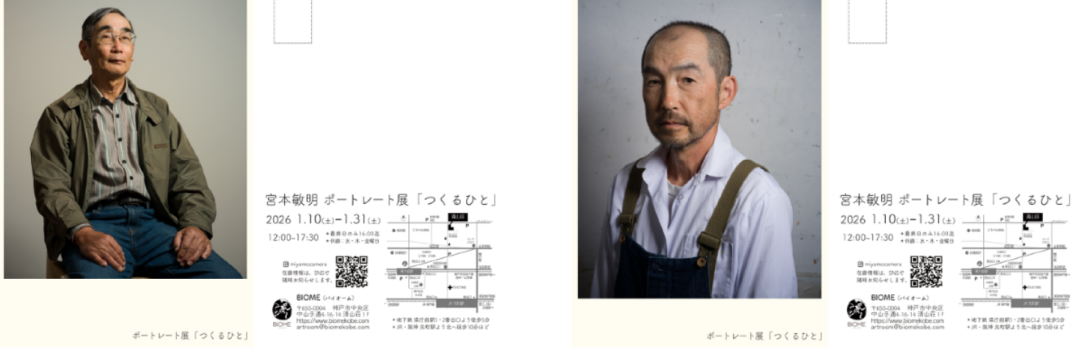
[出版]
写真本「写真本 24H」（日経 BP）
『Ikebana au musée Cernuschi』〈仏〉
フィリップ・ワイズベッカー著「ホモ・ファーベル（MUJI BOOKS）
『大人の流儀』伊集院静（講談社）
『フランスの針仕事 プティ 布の彫刻』（日本ヴォーグ社）
『白の優美 プティ』（文化出版局）全 1 2 巻 表紙撮影

[動画]
MUJI 無印良品「MUJI CONNECTS ART #01」
IDEE Life in Art Philippe Weisebecker「HANDMADE ハンドメイド」展 #1～#4
竹中大工道具館企画「フィリップ・ワイズベッカーが見た日本」展示映像
竹中大工道具館企画「植物 × 匠めぐるいのち、つなぐ手しごと」展示映像
「阿蘇山の茅」「伊勢神宮の川口萱地」

宮本 敏明氏のプロフィール画像



DM 画像



BIOME の移転に関するお知らせ

— 新 BIOME は御影へ —

2019 年、神戸元町の下山手でスタートした BIOME は、コロナ禍を含む社会環境の変化や、建物事情による移転などの困難を経ながらも、さまざまな分野で活躍するアーティストや多くのお客さまに支えられ、現在の中山手で活動が続けてまいりました。

2026 年 5 月、BIOME は中山手から東灘区・御影エリアへと拠点を移し、新しい BIOME を開設いたします。利便性と静けさが共存する御影の街で、これまで以上に生活者の視点に寄り添いながら、魅力あふれるアーティストと作品、そして学びの時間の提供を行ってまいります。

新住所
〒658-0047
兵庫県神戸市東灘区御影 2 丁目 6 番 11 号
BIOME 御影 Alcove 1 階

新住所での営業は、2026 年 5 月を予定しております。
現住所での営業は、写真家・宮本敏明 作品展
「ポートレート つくるひと」
～「たからもの for おくりもの 2026」Special 版～
をもって終了し、2026 年 2 月末をもって完全クローズいたします。
なお、Meeting You Online（オンラインストア）は、引き続き営業してまいります。
これまでお支えくださった多くの皆さまに、心より御礼申し上げますとともに、ここにお知らせいたします。
誠にありがとうございました。

新住所での営業は、2026 年 5 月を予定しております。
現住所での営業は、
写真家・宮本敏明 作品展
「ポートレート つくるひと」 ～「たからもの for おくりもの 2026」Special 版～
をもって終了し、2026 年 2 月末をもって完全クローズいたします。
なお、Meeting You Online（オンラインストア）は、引き続き営業してまいります。
これまでお支えくださった多くの皆さまに、心より御礼申し上げますとともに、ここにお知らせいたします。
誠にありがとうございました。

お問い合わせ
本件に関するお問い合わせは、メールにて承ります。
email：artroom@biomekobe.com
BIOME（バイオーム） 栗山典



BIOME
KOBE, JAPAN

バイオーム 〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4 丁目 16-14 清山荘 1F
biomekobe.com email: artroom@biomekobe.com